

安川電機製 ABS 仕様サーボのエンコーダ出力と C P D シリーズとの接続について

安川電機製 A B S 仕様サーボアンプのエンコーダフィードバックを利用する際の接続について、以下に説明します。

1. 電源 ON 時に絶対値座標を取得し、C P D のカウンタにセットしない場合

(インクリメンタルエンコーダとして使用する場合)
通常の接続で運用します。

2. 電源 ON 時に絶対値座標を取得し、C P D のカウンタにセットする場合

安川電機製 A B S 仕様サーボアンプの絶対値座標は電源 ON 時に P A O (A 相信号) よりシリアルデータとして送信されます。

(詳細は安川電機製サーボバックマニュアルの絶対値エンコーダの取扱いを参照してください)

このシリアルデータを R S 4 2 2 ボード等で受信しモータ軸の絶対値座標を取得します。

その後、この絶対値座標を C P D のカウンタにセットします。

この場合、サーボアンプの P A O 出力を C P D の A 相と R S 4 2 2 ボードに並列に入力する必要があります。C P D 5 2 1 2 M, C P D 5 7 8, C P D 2 7 8, C P D 3 6 4, C P D 1 3 2 であれば並列入力可能ですが、他の C P D ボードの場合、外部回路を設ける必要があります。

【 接続例 】

